



としょかんだより 6月号

平成26年6月
第3号
皆川城東小学校

運動会も終わり、6月がやってきました。これから、梅雨という、雨が多い季節が始まります。雨が降り、外で遊べない日…。そんな時はぜひ、図書室で静かに本を読みましょう。「雨が降ったときは、本を読むチャンス！」と思うと、雨の日も楽しく過ごせそうですね。みんなが、たくさんの「心に残る本」と出会えることを楽しんでいます。

また、雨の日に本を持ち帰るとき、持つて来るときには、本をぬらさないように気を付けてください。よろしくお願いします。



おめでとう！必読図書が読み終わりました（5月28日まで）

3-1 永木 美咲さん 高岡 瑞花さん
6-1 大出 珠々さん 豊田 彩葉さん



まだ、必読図書を全く読んでいない人もいるかもしれません、少しずつ読み進めていきましょう。「みんなに、今の学年のうちに読んでほしい！」という思いで選んでいる本です。

必読図書が教室に置いてある場合でも、図書袋と一緒に図書室まで持ってくると、図書室の本と同じように貸し出しができます。「ちょっと難しそうだなあ」と思う必読図書は貸し出しをして、お家でゆっくり読んでみてください。必読図書は、右側で紹介している「家読」の本としてもおすすめですよ！



じどう ほごしゃ
児童のみなさんと保護者のみなさんへ
うちどく

家読のすすめ

みなさん、「家読」という言葉を聞いたことはありますか？
家読とは、一緒に本を読んだり、本を読んで「面白かった！」という気持ちを家族や身近な人と伝えあったりして、一緒に本の世界を楽しむことです。
「なんだか 難しそう…」「大変そう…」そう思った人も大丈夫！
家読に、難しい決まりはありません。

たとえば、

- ◆一緒に本を読む。…1・2年生のみなさんにおすすめ。読み聞かせをしながらでも。
- ◆同じ本を読む。…一緒に読んでも、別の時間に読んでも。
- ◆同じ時間に本を読む。…時間を決めて、家族で読書をしてみましょう。
- ◆本の読み聞かせをする。…家族から子ども、子どもから家族、どちらでも。
- ◆本の感想を言う。（言い合う。）…どこが面白かったのか、言葉にしてみましょう。
- ◆本のおすすめをする。（し合う。）…家族がおすすめする本を読んでみましょう。
- ◆一緒に本を選ぶ。…小学校の図書館は、夏休みの開館日に一緒に入れます。

など、様々な方法があります。まずは、家族全員が「これならできる！」と思ったことから始めてみましょう。忙しく過ごしている日々のちょっとした空き時間（10分くらい）でも、家読はできます。最初は月に1~2回と、無理なく始めてみましょう。

家族で本を楽しむことができたら、それが家読です。

としょかんだよりも今後、家読におすすめの本やうちどくQ & A（質問集）を紹介していく予定です。学校でも、家庭でも、読書を習慣にしてくださいね。

保護者の方へ

学校では、国語力の向上と豊かな心を育むため、読書教育（朝の読書や音読など）を行っています。ご家庭でも、家読へのご理解とご協力、よろしくお願いします。

